

なんたん 社協だより

2011.10

第12号

あべての住民のごころが輝く福祉のまちづくり



東日本大震災 義援金報告

総額 **802,756円**

(平成23年9月30日まで)

皆様のご協力ありがとうございました。

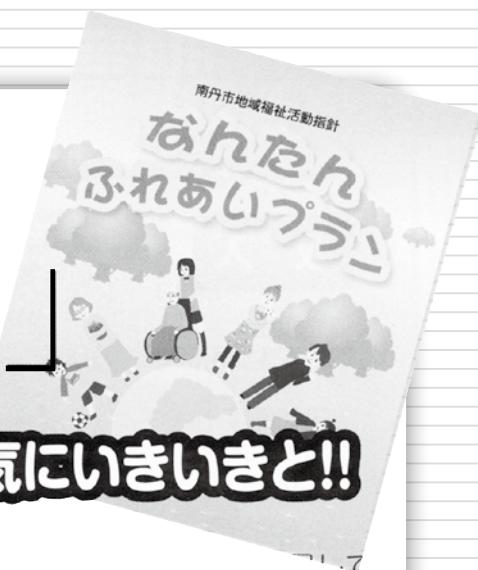
お寄せいただいた義援金は中央共同募金会を通じて被災地に届けられます。

なお、**平成24年3月31日**まで受付期間が延長されることになりました。

引き続き、皆様のご協力をお願いします。

「地域の未来を デザインする。」

「なんたんふれあいプラン」で、地域を元気にいきいきと!!



◆「市民のくらしと地域福祉に関する実態調査」にご協力ありがとうございました◆

7月31日から8月30日にかけて、調査を実施しました。調査は、社協の職員と学生が調査員として一軒一軒訪問し、調査員が直接お目にかかりお話を聴かせていただきながら、回答いただくという方法で実施しました。

事前にお知らせのチラシはお配りさせていただいたのですが、地域の皆様にとって突然の訪問となったことだと思います。調査にご協力いただいた825世帯の皆様には、この場をお借りして心よりお礼申しあげます。

学生調査員感想

不便じゃないかなと思えることでも「昔からこういうくらしだったから」と改善を望んでおられないのが印象に残りました。

NPOやボランティア活動をされている方も多いのに、その民間団体と社協のつながりがないところも多いようで、もったいないと思いました。

社協や専門職にくらしの要望を求めるのではなく、住民同士で助け合うことが大事だと考えられている方もおられました。

子育てをしている若いお母さんや、40・50代くらいの方は、社協や行政の取り組みの効果を実感しにくいんだと思いました。

気になっていることがあっても、どこに相談したらいいか分からない人がいるので相談窓口を分かりやすくする必要があると感じました。

話を聴いていると「今は大丈夫だけど、先のこととは分らない」という不安な思いがあるのかなと感じることがありました。その思いを聞くことが地域へ働きかけていく第一歩になると感じます。

調査に携わって……

今回の調査の目的は、今後の地域福祉を進める上で、①市民の皆様は現在どのように暮らされているのか、②地域にはどのような課題があるとお考えになっているのか、③実際にどのような活動に参加されているのか、ということを明らかにすることでした。具体的には、今後集計を進める中で明らかになってくると思いますが、今回は調査にまわった調査員が見聞きした内容から、印象的なお話を紹介しようと思います。

とある訪問先での話です。家で留守番をしていた高校生が調査員に以下のような話をしてくれました。「私はこの地域が好きだ。この地域を守りたい。だから、よその地域の人と交流していろいろな情報を集めて、役に立つことをどんどんやりたい。今、他の地域の友達を一杯つくっているのだ」と。思わず襟をただす思いがいたします。地域の明日を真剣に考え、前向きに進もうとする若者。調査で明らかとなった実態をもとに、このような若者も交えながら、これから南丹市を語る場を持ちたいと感じました。



アドバイザー
大谷大学 志 藤 修 史

※今回の調査に専門的見地から
アドバイスをいただいている。

～平成23年度第1回ふれあい委員研修会(平成23年7月23日実施)～

「防災を切り口として地域福祉活動の推進を考える ～東日本大震災から学ぶ～」



東日本大震災の経験から、ふだんからの備えや連携体制(ネットワーク)づくりの重要性を確認しました。未曾有の震災でも、自主防災組織があったことで安否確認活動や初動活動がスムーズに進んだ例もありました。

ふれあい委員からは「日頃からの隣近所の関係が、災害時の迅速な対応や救援活動につながることを学んだ」との感想がありました。

～南丹市総合防災訓練(平成23年10月2日実施)～

10月2日(日)午前6時50分頃、南丹市を震源とする震度6弱の地震が発生したとの想定のもと、総合防災訓練が市内各所で実施されました。

主会場となった八木運動公園では、社協も災害ボランティアセンターを開設し、炊きだしや応急救護活動を行いました。

炊きだしでは、LPG保安協会や陸上自衛隊と連携し、炊飯と味噌汁を担当。炊きあがったご飯は、ボランティアさんの手により、約1,000個ものおにぎりとなりました。当日の参加者からは「いい勉強ができた」との声も。

社協では地域防災を切り口とした地域福祉活動の推進にも取り組んでいます。防災マップづくりなど、社協にお気軽にご相談下さい。



ご存知ですか?

～認知症サポーター養成講座～

もしもあなたが、あなたの大切な家族が認知症になったら、あなたはどうされますか？

認知症を患っている方は年々増え、地域で孤立し、孤独感が認知症をさらに悪化させてしまうこともあります。住み慣れた地域で暮らし続けたい・・・そのためには、地域に住む一人ひとりが認知症を正しく理解することが大切です。

認知症は病気ですが、決して何もわからない人ではありません。喜び、悲しみ、苦しみ・・・同じように感じ、ご本人が一番つらいんだということを知っていただき、地域であたたかく見守り、支援いただくための「認知症サポーター養成講座」(出前講座)を開催しております。

今年度は、ふれあいきいきサロン、南丹警察署、園部消防署(予定)などに出張しています。

認知症になっても安心して暮らせる、あったかい南丹市を目指し、認知症サポーター養成講座をあなたの町や職場、学校でも開きませんか。少人数でもかまいませんので、お気軽にご連絡下さい。

●連絡先 南丹地域包括支援センター(あんしんなんたん)

園部・八木の方 電話：0771-68-3150

日吉・美山の方 電話：0771-72-0214



寸劇による出前講座の様子

行事予定・お知らせ伝言板

〈10/14現在〉

つ
ど
う

- 11月3日 美山ふるさとまつり
9日 オープンランチ(美山)
12日 そよかぜどようび(日吉)
18日 オープンカフェ(日吉)
19日 ボランティア交流会
於：南丹市国際交流会館
19日 そよかぜどようび(美山)
22日 介護者リフレッシュ(日吉・美山)
26日 そよかぜどようび(八木)
12月8日 オープンランチ(美山)
10日 そよかぜどようび(日吉)
14日 オープンランチ(美山)
15日 こことも(障がい者ふれあい交流会)
於：遊youひよし
16日 オープンカフェ(日吉)
17日 そよかぜどようび(美山)
1月11日 オープンランチ(美山)
14日 そよかぜどようび(日吉)
20日 オープンカフェ(日吉)
21日 そよかぜどようび(美山)
28日 そよかぜどようび(八木)
中旬 そよかぜ合同新年会
於：そよかぜ八木
2月 8日 オープンランチ(美山)
11日 そよかぜどようび(日吉)
17日 オープンカフェ(日吉)
18日 そよかぜどようび(美山)
25日 そよかぜどようび(八木)
未定 介護者リフレッシュ(園部)

学
ぶ

- 12月10日 ふれあい委員研修会
上旬 ファミサポ講習会(日吉)
2月 4日 包括支援センター講演会
上旬 ファミサポ講習会(園部)

運
営

- 1月中旬 広報委員会
下旬 苦情解決・第三者評価委員会
善意銀行運営委員会

お
悩
み
相
談

- 11月 心配ごと相談・弁護士相談
(8日：八木、22日：美山)
12月 心配ごと相談・弁護士相談
(6日：園部、20日：日吉)
1月 心配ごと相談・弁護士相談
(10日：八木、24日：美山)
2月 心配ごと相談・弁護士相談
(7日：園部、21日：日吉)
※弁護士相談は予約が必要です。

そ
の
他

- 11月 8日 フリー託児 於：日吉はーとぴあ
12月 上旬 フリー託児 場所未定
1月20日 フリー託児 於：日吉はーとぴあ
2月 中旬 フリー託児 場所未定

※予定は予告なく変更する場合があります。又、追加されることもあります。

カイゴのギモン

訪問入浴ってなに?

訪問入浴は、ご自宅でお風呂に入れない人のために、部屋の中に浴槽を搬入し、入浴の介護を行う介護保険のサービスです。

日常生活に欠かせない入浴習慣を支援するという、大きな役割があります。

快適な入浴は、関節の動きや内臓の働きを良くしてくれます。また、気持ちに「生きがい」と「喜び」をもたらしますよ。

ご利用される方の中には、免疫力が低下している方も多いため、事業所は器具の消毒など、感染防止対策に細心の注意を払います。さらに、湯加減などその人に応じた細やかな配慮もなされます。

なお、南丹市には2箇所の事業所があります（9月現在）。



みなさま遊びに 来てください。

～地域活動支援センター「そよかぜハ木」が移転しました～



概観

そよかぜハ木が、あじさい園の敷地内から本町4丁目の民家へ移転し3ヶ月が経ちました。

ここでは、障がいをおもちの方が気の合う仲間や地域の方々と生きがい活動を行う中で、お互いを理解し支え合う交流の場としてご利用いただいております。

中に入っていただきますと、土間、居間、和室と続き、それぞれのスペースにテーブルとイスをご用意しておりますので、お好きな場所で、またその日の気分によって場所を変えておくつろぎいただけるようになっております。

利用者の皆様には、「以前より利用しやすくなった」「すごく落ち着く」といった感想をいただいております。

当センターでは、地域住民の皆様との交流を通して、障がいをおもちの方が人と人とのつながりを大切に思い、一人ひとりの社会生活がより豊かなものになればと思っております。

地域住民の皆様も是非気軽に立ち寄りいただき、そよかぜの活動にもご参加いただけたらうれしいです。そよかぜでの交流を通して、さらに皆様のふれあい・支え合いの輪が広がることを願っております。



土間



和室

【地域活動支援センター そよかぜハ木】

住所：〒629-0141 八木町八木鹿草86番地5
TEL/FAX：0771-42-5605

※駐車スペースが限られていますので、お車でのお越しの際はご連絡ください。

善意のご寄付ありがとうございました

平成23年6月1日から9月30日受付分

◆本所扱い

吉田 昭 様 100,000円…つくし園のために
株式会社親愛 代表取締役 安達耕一郎 様
100,000円…福祉のために
匿名 寄付 4件 12,450円
農事組合法人グリーン日吉 理事長 田中保雄 様
フリーズドライ味噌汁 多数

雅美流・雅美舞会主様

10,000円…雅美流20周年チャリティー
踊りと歌の祭典の収益金を
福祉のために

匿名寄付 10件 368,000円
笹川 卓志 様 車椅子1台・介護用品多数…福祉のために
八木 実登志 様 ズボン・巾着 多数…福祉のために
栗山 勝美 様 タオル・色えんぴつ等…あじさい園のために
匿名 預託 2件 紙おむつ 多数

◆園部支所扱い

寺尾理一 様 100,000円…亡母の供養に
小林 靖 様 100,000円…亡妻の供養に
廣瀬 強 様 30,000円…福祉のために
南丹地区カラオケ連合会 様
30,000円…第4回南丹地区カラオケ歌謡
フェスティバル収益金を福祉
のために
西本梅小学校PTA 様 10,000円…福祉のために
カラオケ同好会「道」代表 阪本輝雄 様
40,170円…チャリティ歌謡フェスティバル
収益金を福祉のために

◆日吉支所扱い

山内貴之 様 150,000円…亡父の供養に
廣野 隆 様 50,000円…亡母の供養に
磯部龍夫 様 100,000円…亡母の供養に
木村一夫 様 100,000円…亡父の供養に
中川幹也 様 300,000円…亡父中川嘉雄の供養に
中田勝利 様 100,000円…亡母の供養に
吉田好一 様 100,000円…亡母の供養に
加地秀伸 様 50,000円…亡父の供養に
吉田要三 様 100,000円…亡父の供養に
湯浅孝治 様 200,000円…亡父の供養に
谷口明美 様 5,000円…車イス借用のお礼に
匿名 寄付 4件 30,000円
石川信人 様 電動折りたたみベット1台
吉田好一 様 ふとん安心シーツ1袋

◆八木支所扱い

中川忠彦 様 50,000円…ベット借用のお礼に
竹野昌治 様 100,000円…亡父の供養に
竹上あき子 様 200,000円…亡夫の供養に
谷口まさの 様 100,000円…亡夫の供養に
八木キミ子 様 100,000円…亡夫の供養に
川勝優 様 100,000円…亡妻の供養に
山内孝夫 様 100,000円…亡母の供養に
廣瀬保子 様 10,000円…福祉のために
歌謡フレンズ 様 25,536円…福祉のために

瀬口 裕 様 5,000円…ワークセンターびびの運営に
和田野清一 様 50,000円…亡母の供養に
堂本宣孝 様 100,000円…亡父の供養に
神田衛 様 100,000円…亡母の供養に
近澤幸夫 様 10,000円…ベッド借用のお礼に
匿名 寄付 3件 154,000円
福井修 様 車椅子・歩行器各1台…亡父の供養に

私は、障がいをもたれた方の就労を支援する施設でサービス管理責任者をしています。

ご利用者の希望は「就職したい」「旅行に行ってみたい」「結婚したい」「たくさんお給料が欲しい」など様々です。日々の会話を通してお一人おひとりのニーズをキャッチし、将来の夢、目標に向けて支援をさせていただいています。

どうすれば、夢に近づけるか頭を悩ませることもありますが、その夢に少しでも近づき、ご利用者から笑顔がこぼれると、こ

ちらまで幸せな気分になります。

ここに勤めていなかつたら出会わなかつた方々、知らなかつたこと感じなかつたこと経験しなかつたであろうことがいっぱいです。そんなたくさんの出会いに感謝しながら毎日を過ごしています。

これからもお一人おひとりが自分らしくいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようお手伝いし、笑顔がいっぱいの施設になるよう頑張っていきたいです。





日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社員増強運動(5月)に ご協力ありがとうございました。

8,282件 4,157,550円

皆様の善意に厚くお礼申し上げます。なお、7月に全額日本赤十字社へ送らせていただきました。



平成23年度 社協会費へのご協力 ありがとうございました。

総額 8,095,000円 (9月30日現在)

お寄せいただきました会費は地域福祉をはじめとする社会福祉事業に有効に活用させていただきます。
今後ともご協力をよろしくお願いします。

赤い羽根共同募金に ご協力をお願いします!! じぶんの町を良くするしくみ



期間：10月1日～12月31日

みなさまからお寄せいただいた募金は、さまざまな地域福祉活動や
ボランティア活動に役立てられています。

※昨年度より「南丹市共同募金委員会」が発足し、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい
募金を合わせてご協力をお願いさせていただいております。

新任職員の紹介

よろしくお願いします!



坂本 藍

包括支援部包括支援課（美山支所勤務）
地域の皆さんのお力になれるよう働きたい
と思います。微力ではありますが、お役に
立てるよう頑張ります。お気軽にお声掛け
ください。



福井 かおり

地域包括支援センター（南部）
8月から社協職員となりました。「会うと
ほっとする」と言ってもらえる職員を目指
して、お一人おひとりとの出会いを大切に
していきたいと思っています。よろしくお願
いします。

第60回 京都府社会福祉大会表彰者

(敬称略・順不同・所属は推薦状の通り)

社会福祉事業・ボランティア功労者知事表彰

社会福祉事業特別功労者

蓮 本 伸 二 (長生園)	塩 貝 ひろみ (はぎの里ふれあいホーム)
今 井 とし子 (はぎの里訪問介護事業所)	古 川 玲 子 (老人保健施設はぎの里)
船 越 恵 子 (はぎの里ふれあいホーム)	森 五 月 (るりけい寮)
寺 阪 和 博 (あした一る工房)	古 屋 義 美 (美山育成苑)
永 武 美紀子 (美山育成苑)	森 哲 也 (美山育成苑)

ボランティア功労者 団体

要約筆記ボランティア「大堰」	要約筆記活動	手話サークル「虹っこ」	手話活動
インナートリップ	障害者施設等でのお手伝い活動		

京都府社会福祉協議会会長表彰・感謝

社会福祉事業特別功労者

福 井 京 美 (特別養護老人ホーム長生園)	市 原 三津子 (美山育成苑)
大 林 清 一 (京都府立淇陽学校)	竹 村 早 苗 (あけぼの学園るりけい寮)
長 溝 利 子 (日吉たには会特別養護老人ホームはぎの里)	垣 村 和 男 (あけぼの学園)
由 良 正 敏 (あけぼの学園)	湯 浅 滿 男 (南丹市社会福祉協議会)
星 尾 正 吾 (南丹市社会福祉協議会)	中 西 多嘉子 (南丹市社会福祉協議会)
榎 原 克 幸 (南丹市社会福祉協議会)	松 本 静 子 (南丹市社会福祉協議会)

民生委員・児童委員特別功労者

下 司 文 一	三 齋 晴 子	井上 みよし
---------	---------	--------

社会福祉協議会活動功労者

社会福祉事業協力者

森 田 芳 夫	谷 口 猪一郎	吉 田 喜美代
廣瀬 健一	他1名 (匿名)	



『皆様のご意見お待ちしております』

地域での活動や取り組みの紹介コーナーを設ける予定です。
よりよい広報誌作りのために、みなさまからのご意見お待ちしております。



社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

本 所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地 電 0771-72-3220 FAX 0771-72-3222

園部支所 〒622-0014 南丹市園部町上本町南2番地22 電 0771-62-4125 FAX 0771-63-5606

八木支所 〒629-0134 南丹市八木町西田山崎17番地 電 0771-42-5480 FAX 0771-42-4412

日吉支所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内6番地4 電 0771-72-0947 FAX 0771-72-0732

美山支所 〒601-0751 南丹市美山町島往古瀬8番地 電 0771-75-0020 FAX 0771-75-0829

ホームページ 南丹市社協

検索